

令和5年度 第1回社会教育委員会議事録

会議の名称	令和5年度 第1回社会教育委員会議
開催日時	令和5年8月28日(月) 14時00分から16時00分まで
開催場所	大和高田市中央公民館 視聴覚室
出席委員	山本剛・岩月和美・酒井智哉・植木直・大嶋エツ子・野田安子・新森和男 上島直志・稲垣とし枝・表啓充・戸倉教雄・西川義久(計12名)
欠席委員	2名
担当課職員名	教育長 梶木義敏 ・教育委員会事務局教育部長 久保葉二 生涯学習課長 小寫俊光 ・学校教育課長 稲田昌弘 教育支援課長 梶村圭 ・生涯学習課課長補佐 藤田和美 生涯学習課生涯学習グループ係長(公民館) 山崎法子 生涯学習課生涯学習グループ係長(文化財) 北中恭裕 生涯学習課参与 西岡良子 ・生涯学習課 稲岡勇希
会議の次第 及び会議の公開 又は非公開の別	<ul style="list-style-type: none"> ・議長及び副議長の選出について(公開) ・各委員の自己紹介及び各団体の活動状況等の報告(公開) ・各課からの連絡事項について(公開) ・その他(公開)
傍聴者の数	0人
会議資料	委員名簿 委嘱状 文化財係からのお知らせ 大和高田市社会教育委員会議運営規則及び 社会教育法(社会教育委員の職務)
会議録の作成	<input type="checkbox"/> 録音機を使用した全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 録音機を使用した要点記録 <input type="checkbox"/> 要点記録
その他の事項	

(要約版)

1 開会

ただいまより、令和5年度第1回社会教育委員会議を開会いたします。

本日の会議は、委員14名のうち12名の出席をいただきました。過半数以上の委員の出席となり、大和高田市社会教育委員会議運営規則第3条第4項の規定により本日の会議は成立することをご報告申し上げます。

2 委嘱状交付 略

3 出席委員の紹介 略

4 事務局の紹介 略

5 教育長挨拶 略

6 議事

発言者	内容
第1号議案	議長及び副議長の選出について
	全会一致で議長に西川委員、副議長に戸倉委員が選出された
第2号議案	「自己紹介及び各団体の活動状況等の報告」について
野田委員 (文化協会代表)	文化協会に茶華道部がある。今、華道は定期講座ではじめていただき生徒も多数来ていて、先生も順番に指導しているが、茶道がいまだに始まっていない。そして、募集の方もかけていただけていない状態である。それを生涯学習課にお聞きしたい。(→第4号議案の報告の際に回答)
表委員 (各種団体)	高田市は、建物も古いからわかりませんが、各市町村ではお金を取って運営をしてもらってるところ定期講座が20程と自主講座が公民館を無料で利用でき、特に自主サークルが盛んな地域である。ですが、定期講座に至っては、前に進まない。私は生涯学習課のミスであると思う。なぜかという定期講座は普通5月に開講である。もう少しちゃんと運営をやってもらいたいことが一つと、それから私は定期講座の講師として出席しているが、22ある定期講座で講師が一堂に会して話をする機会がない。ですから、自分の定期講座は話ができるが、他の講師がどのような思いを持っているか、ここでは一向に述べるできない。自主サークルについては各先生方が色々とみて講座を運営しているのはありがたいが、定期講座は生涯学習課において、講座講師を選んでいただいて、そして、一般の市民から講座生を募って運営しているところなので、出来たら話し合いの場を設けてほしい。社会教育の会議に出ている私としては、各講師はこのような気持ちで訴えておられますよと発表してこそ、ここにきている甲斐があると思う。
上島委員 (陵西公民館管理運営委員)	公民館をいかに有効に使うかが課題となっている。コロナ禍から、講座が復活し、自主サークルが頑張っていて活動しているが、やはり一番の課題としては若い人たちにいかにそこに入ってもらい、活性化してくか。また、地域に色んな人材が

(要約版)

	<p>いるが、生かされていなくて感じる。</p> <p>地域のコミュニティというあたりで町内会の活動や小さいところから色々な年齢層を巻き込んだ行事やイベントで、日々の見守り活動も含めたお互いが声を掛け合って見守りあえるような人間関係作りを地域でしていかないと公民館が一部の人だけの場になってしまうと思う。</p>
第3号議案 講演：「誰一人取り残されない大和高田市を目指して」 (講師：大和高田市教育委員会事務局 教育部 教育支援課 課長 梶村 圭)	
(省略)	
第4号議案 教育委員会各課からの連絡事項の報告について (報告省略、問題点のみ)	
(生涯学習課公民館担当)	
事務局 (山崎係長)	茶道について、9月より自主グループについて活動可能です。 定期講座については、来年5月開始を予定していますが、例えば10月から開始することも可能でしょうか。
野田委員 (文化協会代表)	可能である。
事務局 (山崎係長)	では、10月開始とします。
野田委員 (文化協会代表)	生徒の募集はどうするか。
事務局 (山崎係長)	10月の広報に掲載します。 ホームページでの募集はすぐにできます。
野田委員 (文化協会代表)	であれば、先生の名前をすぐに連絡する。
(生涯学習課文化財担当) 省略	
(生涯学習課生涯学習担当) 省略	
(学校教育課) 省略	
第5号議案 その他	
酒井委員 (美術協会代表)	高田川の千本桜にクビアカツヤカミキリが発生している。社会教育には関係ないが、市として県として対応した方がよいと思う。
稲垣委員 (各種団体)	それぞれの場所でみんな選んだ場所で頑張って、それをみんなで繋いでこの街を活性化させていきたいが、私たちの受け皿になる公民館自身が、お休みの人が多かったり等、この2、3年不便を感じるがあった。これから皆さん力を合わせて私たちと頑張っていただきたい。
西川議長	他にありませんか。
事務局 (小寫課長)	先程表委員が、講師先生が集まって話す機会が無いと仰られたことを踏まえ、会合をできるだけさせていただきます。

(要約版)

野田委員 (文化協会代表)	<p>華道のことだが、講師の先生が新しい剣山購入を要望したところ、公民館から本部に予算がないと回答があった。今は無理を言って剣山を買ってもらったが、まず初めに講師先生が訴えた時は適正な予算と言わずに適正な回答をいただきたいと思う。その場ですぐに回答ができなかった場合は改めて回答しますと言っていたければいいのではと思う。買えないと即座に言うのはよくないと考える。</p> <p>公民館の3階へ上がるのはすごくしんどい。市庁舎が建つ時に市長と一緒に建ててくださいと言ったが、色々な事情でダメだった。これから公民館の建て替えをしないのであれば現在使用していない調理室を使用できるようにしてもらいたい。食推の方は調理室を使いたい。保健センターが近くにあり、何かあれば保健センターからすぐ来てくれるからである。他の市も調理室と保健センターが隣接している感じで使っている。それもどなたかが即座に使えないと回答していたようである。私たちは即座に回答は必要なくて検討していただき、その結果を団体に伝えていただきたい。</p>
表委員 (各種団体)	<p>調理室の使用は不可能か。公民館は防災基地になっているのにご飯も炊けない状況だと意味がない。野田委員に併せて言うわけではないが、できるできないはきちんと検討してから言っていたきたい。調理室も掃除したら使えるのではないか。</p> <p>社会教育委員会議であるため、公民館のことはあまり言えないが、そういったところも考えていってほしい。</p>
久保部長	<p>公民館は、危機管理課にも確認しましたが、防災の拠点とはなっていません。ただ、今後、調理室をどのような形で生かしていくか新しい課長と考えていきます。</p>
表委員 (各種団体)	<p>回答をする際には、何のために何がダメなのかをきちんと理由を言っていたきたい。</p>
事務局 (小畷課長)	<p>この施設のしまい方というわけではありませんが、これからどういう風に使ってもらいながら終わりを迎えるかを考えていく時に来ていると考えています。なので、そのあたりはまだ明確には言えませんが、検討します。</p>
表委員 (各種団体)	<p>きっちりしたことを言っていたらこれ以上は何も言わないが、一番大事なのはダメで終わると、こういう風に考えていると言われるのでは感じ方が違う。きちんと検討して回答をしていただきたい。</p>
上島委員 (陵西公民館管理運営委員)	<p>3点ある。</p> <p>1点目は、この会議はとても大事な中身なので議事録として残して欲しい。</p> <p>2点目は、できれば、提案する側、要望する側も文書にして出したい。我々委員も文書化してみんなで共有する提案の方が伝えやすいと考える。</p> <p>3点目は、議題に出た以上、次回社会教育委員会議の時に今はここまで検討して、予算措置をします等何らかの回答をしていただきたい。それを文書化して出していただけると我々も自分たちのメンバーに伝えていきやすい。</p>
事務局 (小畷課長)	<p>先程のカミキリムシの話もですが、せっかく仕入れた情報を周りには広めていきたいです。ただ、私たちがすべての回答ができるわけではないので情報は共有するようにしていきます。</p>
酒井委員 (美術協会代)	<p>3点ある。</p> <p>1点目、委嘱状を今日いただいたが、それまでに近畿地区の社会教育研究大会に</p>

(要約版)

表)	<p>参加しますか等の案内が来た。出席票だけではなく委嘱はまだですが、旅費が出ますや職員も同行する等の案内があって出欠票がついていればいいと思う。いきなり出欠票だけ来ても私たちはまだ委嘱もされていないのにと感じる。</p> <p>2点目、定期講座で今年から美術協会写真の部で写真講座を受け持っているが、他の市と比べて大和高田市はずさんである。講座を任せっきりの感じを受けた。受講料4,000円をもらっても撮影会には行っていない。受講料を何に使うのか等考えていただきたい。</p> <p>3点目、防災、建物の話が出ましたが、私一応消防職員で建築や消防設備で関わっていますので、大和高田市の現状がわかっている。耐震整備の優先順位があつてここは耐震が取れておらず、ほとんど耐震が終わっている学校が避難場所となっているのではと思う。文化施設や公民館がどうしても優先順位から下がってしまうのではないかと思う。</p>
西川議長	<p>私から1点だけ。色々な意見が出ましたが、対処できるものについては回答をしていただきたい。各団体の意見は団体に、ここで出たものは改めて回答をしていただきたい。</p>

終